（大正十四年二月五日
第三種郵便物認可）
大正十五年十月三十日　常磐礦報　つるはし　第六十號　【一】

常磐
礦報
つるはし

發行兼編輯兼印刷人　巻幡常六
福島縣石城郡平町一丁目二拾九番地
印刷所　株式會社　平活版所
福島縣石城郡內郷村字宮澤二番地
發行所　常磐礦報　つるはし社
毎月三回十日廿日卅日發行四頁
代價一部五錢一ヶ月十五錢

評壇

勞務課の新設

思想的國難に際して

磐城炭礦では職制改正に伴ひ從來採炭課に從屬してゐた警務係を廢し勞務課を新設した而して課長には青沼鋒太郎氏、副課長兼勞務係長に庶務係長であつた濱崎善三郎氏が任命された。

× × ×

青沼課長は恰も慈父か叔父かとも思はるゝほどな優しい、親しみのあるいはゆる温顏あふるゝ許りな態度で接して呉れる人である、濱崎副課長はそれより隔て一重を取つて恰も兄か弟のやうな親しみを感じて今日に至つた極めて人なつこい厭味の無い人である。

× × ×

しかも兩課長ともに接して隔てのない、思ふことを存分に言はせて呉れる洋々海のごとく大量な心を持つて居られることは洵にわれ〳〵の嬉しく感ずるところである、勞務課がかくの如き兩課長を得たことは磐城炭礦のために祝福に堪へず、勞資協調のためにも、出炭能率增進の根本義を確立するためにも甚だ慶賀に堪へない。

× × ×

而して人事と事務には多年の經驗ある大方副係長あり技術方面においては最高學府を出た圓轉滑脫にして人をそらさぬ筒井副係長あり、蓋し勞務課內閣は顏觸れその人を得たりと言はざるを得ない。

× × ×

近來無產階級と自稱する國民の間に共產主義的思想澎湃として漲り來り、權利の要求あるを知つて義務の遂行あるを故意に閑却し、天理自然の法則を無視して徒らに自由平等などゝ詩人の空想を信ずる低劣なる徒横行跋扈し、全國の勞働者團結せよ、などゝ叫びて自己の立脚地を終生勞働者たらしめんとして奮鬪努力他日資本家たらんとするの進取の氣象毫末も無き退嬰的思想を持つもの激增し自[illegible]自身を侮辱して恬とし[illegible]ちざる徒多き時に際し勞[illegible]課が新設と同時に斯くの如き顏觸れを揃へ得たといふことは會社のためにもはた又勞働者のためにも洵に幸福この上なしと言つても過言ではない。

× × ×

今や、無產階級のみならず、有閑階級或は學者の間にも共產主義的危險思想が漲りつゝある即ち現代日本は實に、思想的國難に遭遇しつゝある、敢て思想的國難といふ、蓋し武力的、兵力的國難よりも思想的國難は絶大なる痛手を國家に與へるからである。

寄稿歡迎
つるはし社

かくの如き國難に際してわが石城の一角に萬を算する大衆を擁してゐる磐城炭礦がこれ等の思想を一掃して以て範を全國に示す上においても而して眞の勞資協調の實を擧げるがためにも最もその人を得たりと評すべくわれ〳〵は大なる期待を持つてそのモツトーたる至誠、公平、親愛の實現を俟つと共に門戸を開放し裸となつて大衆の渦中に飛[illegible]込んで親しく勞資協調の[illegible]衝にあたる幹部諸氏の御手並を拜見せんとするものである。

× × ×

磐城炭礦辭令

勞務課長兼務申付　青沼鋒太郎
鑛業部庶務課長兼庶務係長兼用地係長申付　水野虎三郎
勞務課副課長兼內郷勞務係長申付　濱崎善三郎
茨城出張所兼務工作電氣に關する業務監督申付　吉田賢吉
工作課內郷運轉係副係長申付　林田滿
全　中野新平
工作課副課長兼內郷運轉係長申付　井戸東一
採炭課副課長兼高坂採炭係長申付　高濱保
勞務課內郷勞務係副係長申付　大方遠也
全　筒井磐雄
採炭課高坂採炭係副係長申付　鈴木宜

巻幡氏を送るとて……七年會の集り

右傾と左傾

もと獨逸の國會において保守黨は會場の右翼に席をとり、急進黨は左に席をとることゝなつてゐたことから起つた言葉で、右傾といふのは右方に傾くこと、すなはち保守的に傾くことを意味するのである、これに反して左方はすなはち急進的に傾くことを左傾と稱する、

◇鶴嘴片々◇

◇內郷村は全國第二位の大村だが道路の惡いことは全國第一位だ。

◇チャン〳〵とすりばんの音で第一にポンプが泣く、歩けないからだ。

◇一戶で鎭火する所も見す〳〵數戶を燒く、惡路でポンプが走れず時間を空費する結果だ。

◇惡路の影響が火災のみか凡てに甚大なのを悟つたであらう。

◇內郷村は旗日に國旗を掲揚するもの尠し矣。

◇旗日を忘れるのは愛國心が薄い徵だ。

◇道路を放任してるのは愛村心の無い證據だ、愛國心が薄いのも道理。

◇社會改造、國体變革を企つるものに肺病患者多し矣

◇階級鬪爭や自由主義を鼓吹するもの亦然

◇こんな病的思想にカブレるのは見つともない止せ止せ。

地方稀れに見る
本紙の發行部數
五千五百に達

本紙は九月十四日發行を七千五百枚
千五百枚を印刷し爾今五千五百枚
とゝなつた尚ほ磐城炭礦茨城出
決定次第本紙は毎號七千枚の
とゝなるのである隨つて廣告
余りに紙廉に過ぐるが當分
くこの點御承知を願ひたい
發行部數五千五百枚を有す
では絶無である故に廣告
ことは言ふまでも無い、
大方諸君の御注意を喚起

新時代の要求せる
姬馬印製劑
クスリは……
モトネ……
……
六神丸　トンプク
救命丸　實母散
其他　十數方劑
本舖　元根眞誠堂
五

和洋紙類
襖地表裝裂地
文具事務用品
製圖測量器械
和洋諸帳簿類

壽
和洋紙問屋
坂本紙店
平町一丁目
電話四八番

冬服新荷着
◙新らしい品・新らしい型の冬服が澤山揃ひました
◙値段は昨年の二割乃至一割半安の下記の通りです
背廣三ツ組
◆紺黒サージ17●8圓ヨリ26●7圓マデ
◆メルトン類15●圓ヨリ22●3圓マデ
◆スコツチ類　23●4圓位
詰襟上下組
◆紺黒サージ類11圓ヨリ　20圓マデ
◆メルトンラシヤ類　14●5圓位
其の他各種冬物續々荷着致し居ります何卒御用命を……
ふかや洋服店
平町丁貳目（電話二〇三番）